



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 中 谷 佳 正
幹 事 浅 井 晃 会 報 委 員 長 宮 田 正 人



ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーは世界をつなぐ

2019-2020年度国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2449

2020-1-24

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
https://osakajonan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会) 1月24日(第4例会)

- 卓話 「実演 記憶に残るパッケージ」
エコロジーかつユニークなパッケージを
紹介します。「パッケージの役割」を実感
して頂きたく思います。
ザ・バック(株)包装研究室 齊藤衡一氏
(中尾吉計会員担当)
- クラブ協議会 13:40~15:00
シェラトン都ホテル大阪 3階 葛城の間

次週のお知らせ) 1月31日(第5例会)

- 卓話 「夢の電池ー全固体電池ーについて」
大阪府立大学 大学院工学研究科
物質・化学系専攻 教授 林 晃敏氏
(プログラム委員会担当)
- 食膳 <中国 円卓料理>

次々週のお知らせ) 2月7日(第1例会)

- 卓話 「千利休・与謝野晶子と堺」
元堺市博物館学芸課長 吉田 豊氏
(金山信利会員担当)

先週の記録) 1月17日(第3例会)

- 出席報告
出席会員 33 名 (内免除会員 8 名)
会員総数 45 名 (同上 15 名)
ゲスト 4 名
ビジター 0 名
計 37 名
ホームクラブ出席率86.84%

12月20日(第3例会)補正出席率97.14%(MU3名)

●ゲスト&ビジター (敬称略)

山崎修一 (卓話者)
白石純一 (地区職業奉仕委員会)
西辻豪人 (地区職業奉仕委員会)
李 頌雅 (米山奨学生)

1月15日(水)RAC例会出席者(敬称略)

西谷 岡部(倫) 岡部(泰) 村上(泰) 石濱 宮田

◆会長の時間◆

今月は職業奉仕月間です。ガバナー月信より四宮ガバナーのメッセージの一部を紹介します。ロータリーには様々な職業や経験を持つ会員がおり、地域社会でのつながりを活かした多様な活動が実践されています。職業奉仕は「ロータリーの目的」(ロータリー綱領)の第2項『職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること』を土台としています。では具体的にどのような実践ができるのでしょうか。

- 1.例会で各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う。
- 2.地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす。
- 3.高潔さを重んじて仕事に取組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す。
- 4.若者のキャリア目標を支援する。
- 5.専門能力の開発を奨励し、指導する。

このように職業奉仕は決して理解しにくいものではなく、ロータリアンにとっては最も身近な奉仕活動と言えます。

◆幹事報告◆

先週は夜間例会でしたので、未報告となっております。先週の理事会決定事項を御報告申し上げます。

年末家族会に於いて参加してくれておりましたRACメンバーから「酒味の会」に参加をしたいとの意向がありました。RACメンバー及びクラブメンバー家族にも会の案内をする事を理事会承認致しました。

地区ロータリー米山記念奨学会から「ハイライトよねやま238号」2020年1月14日発行分が届いております。中谷会長及び山口米山記念奨学委員長に回付致しております。

職業奉仕月間

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

◆ 委員会報告 ◆

青少年奉仕委員会 村上武史委員長

本年度の事業計画書の3項に挙げていました大阪教育大学附属天王寺中学校で役目を終えた書籍を、去る昨年の12月24日(火)に浅井幹事、附属の副校長先生、生徒4名と共に生野聴覚支援学校へ寄贈しに行き参りました。

寄贈後、学校の見学を支援学校の生徒さんに案内して頂き大変勉強になりました。この事業の継続は是非行いたいので引継及び式は次回報告させていただきます。

雑誌・広報委員会 宮田正人委員長

「ロータリーの友」2020年1月号紹介

【横組記事より】

P.17 第48回ロータリー研究会レポート 2019年11月17日～19日 ロータリー研究会は、現在、過去、将来のロータリーリーダーが出席し、国際ロータリー(RI)とロータリー財団についての意見交換を行うほか、交流を深め合う目的で、RI理事が招集し、年1度開催されています。従って今回の研究会の招集者は三木 明RI理事で、今は対象者の範囲も広がり、今回は569人の登録がありました。

本研究会に先立って行われた財団セミナーでは、2018～19年度にポリオプラス基金にDDF(地区財団活動資金)を多額に寄付した地区が表彰されました。特に30万ドルを寄付した第2690地区は、世界の525地区中、第1位。また日本から寄せられた現金を含む合計は500万ドル以上となり、前年度(約342万ドル)をはるかに上回る結果となったことが報告されました。

今回の研究会では、会員増強に関する「会員基盤の充実」のセッションで、パネリストの菅原裕典氏と柳生好春氏からは、「危機感」という言葉が幾度となく発せられました。中でも柳生氏は、過去4年間で世界のロータリークラブ数は増えつつも、会員数が減少していることに危機感を示しました。また、ロータリーの知名度は少しずつ向上しているとはいえ、まだ自分の地域にロータリーを知らない人が多くいるという事実を踏まえ、広報の大切さを改めて強調。広報ツールとしても機能するはずの各クラブのウェブサイトが、内容は素晴らしいものの、一般社会に向けられてないと指摘しました。また、女性会員増強の課題については、「女性会員入会に反対するシニア会員を再教育してほしい、という声が聞かれる」「ロータリーにふさわしい人を入れたら、女性だったと考えるようになれば」という発言がありました。菅原氏は、生意気なことを言うようですが、前置きした上で「女性も男性も同じ会員だと思えることが大切です。そうでないと、女性を入れない一部のクラブのために議論をしていることとなります。そのようなロータリーに若者が入会してくるとは思いません。ロータリーを愛しているのであれば、性別や年齢に関係ないのではないのでしょうか。

自分の入会時と同じままのロータリークラブの形を維持することにこだわるのはナンセンスです。若い人を引き付けるには必要に応じて変化することが大事です」と発言。会場から拍手が起きました。

【縦組記事より】

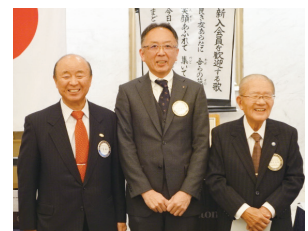
P.4 会社員として、ジャズプレイヤーとして～両立が自分らしさ(パナソニック(株)テクニクスブランド事業担当参与・ジャズピアニスト 小川理子さん) 2018年4月21日 国際ロータリー第2660地区 IM8組ロータリー・デー 記念講演要旨が掲載されています。 私が今まで大切にしてきたことを三つ挙げます。一つは「挑戦し続ける」。自分が限界だ、と感じる3センチくらい上に棒高跳びのバーを掲げる感じです。こういったことを続けていたら、後で振り返った時に「あ、こんな地点まで上ってこれたんだ」と思うことができました。二つ目は「豊かに発想し、創造、クリエートする」。長年仕事を続けていると、一見関係ないところで知と知が結び付いてイノベーションが起こることがあり、世の中の小さな変化、兆しを察知する感度のアンテナを掲げること、好奇心を持っていろいろなことに興味を持つことの重要性が、分かってきました。三つ目は「信念と情熱を持ち続ける」ことです。自分の個性、得意分野、強みを軸に信念は形成されます。それが自分のバックボーンとなり、どんなときでもよりどころとなりますから、情熱を持ち続けるのが大切です。

P.19 私の一冊 女の機嫌の直し方(名古屋東南RC 花井勉氏)

私の行動を変えてくれた本です。妻、恋人など、女性の機嫌を損ねたときに、わらにもすがる思いで開くと素直に読めます。男女は脳の違いから、「女は共感されたい、男は問題解決をしたい」と。男女の脳の違い、知っていれば人生変わっていたかも。



▲委嘱状 金山会員



▲米山功労者 左から中本会員 光信会員



▲ロータリー財団寄付 左から南賀会員、井上会員、中本会員



▲新入会員 野村会員

会員増強にご協力を!!

卓話

1月17日〈第3例会〉

「ロータリーの職業奉仕 その根幹」

国際ロータリー第2660地区
2019-20年度 職業奉仕委員会 山崎修一委員長



「ロータリーの職業奉仕 その根幹」という題でお話をさせていただきます。「超私の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」「四つのテスト」など、「ロータリーの樹」の“根と幹の部分”を考える機会にしたいと思います。

まずは「働きがい」です。これを失ったら職業奉仕は成り立ちません。健康、家庭、職場などを大事にしながら、目標や理想など目指すところに向かって継続努力するところに「働きがい」があります。しかし、最も大事な点は、単に自分が目標を実現するだけでなく、周りの人たちがそのことによって認めてくれる、喜んでくれる、幸せになることでしょう。

さらにその点を掘り下げると、「Stand by YOU」につながります。まず、相手の立場に立って考えること、相手の気持ちがわかることがスタートです。これこそコリンズが紹介した第一のモットー「超私の奉仕」の原点です。さらに、相手の立場に立って、自分を厳しく客観的に眺めることが要求されます。この基準がハーバート・テラーによる「四つのテスト」です。日本には従来から「情けは人の為ならず」ということわざがありますが、これは第二のモットー「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と本質は同じところにあると言えるでしょう。

では、三つ目の「人づくり」について考えてみます。ここには5つの視点があります。たとえば植物は、「土」に「種」を蒔き、やがて芽を吹く、そして花が咲き、身を実らせる、それが何倍もの「種」となって「土」に戻り、また芽を吹くといった繰り返しをしながら生長していきます。人の成長をこの5つ「土種芽花実」になぞらえてみましょう。

第一に、「土」すなわち組織は一人ひとりにとっての成長の舞台、自分の力を最大限に発揮する舞台だ、という捉え方です。ロータリーという組織も、明らかに成長の舞台、人づくりの場です。

第二に、そこでいう成長とは変化の1つ、「変化こそ生命(いのち)」だという点です。「種」が宿るのです。今私の目の前のパソコンを思い切り床にバンとたたきつけると、粉々に割れます。形が変化しました。しかし、パソコンには生命はない、では生命って何だろう、それは、自分の意志と力で変化するということではないでしょうか。パソコンは残念ながら他の力でしか変化できない、だから生命を宿していないのです。一方で、草花は自ら水分や養分を吸い取り、光合成をして変化していきます。だから生命です。自律的に変化、成長していくところに、「働きがい」が生まれるのです。

第三は、その変化や成長が「芽」をふく方向です。日本国憲法第22条には職業選択の自由が謳われています。私も税理士という職業を選択しました。ところが30歳で独立したときに、いくらその仕事をしたくても仕事ができませんでした。全く申告書が書けなかったのです。申告書を書いてくださいというお客様がいなかった、ゼロからのスタートだったからです。人が仕事を選ぶのは当然のこととして、実は仕事人が選ぶのだということを心の底から悟りました。言い換えると、常に仕事から選ばれる存在になるように変化、成長していかなければならない、「変化こそ生命」の方向は、

「人が仕事を選び、仕事人が人を選ぶ」というところにつながることによって「花」が開くと思うのです。

そうすると第四に、仕事から選ばれる存在になるにはどうすればいいか、一人ひとりが「花開く」ためには何が必要かということがポイントになってきます。これこそ正解はないように感じます。ただ1つだけ言えることは、これからの時代は他の人と同じことをしていたのでは、「あなたにお願いします」と言って選んで頂けないだろうということです。「自分らしさ」が大事なのです。「独自性と多様性」が求められることの意味がここにあります。ロータリーの各会員、各クラブも例外ではありません。

そして第五に、こういう「らしさ」を鍛え上げていくには、頂いた報酬や利益を投資に回さなければなりません。金銭的な投資はもちろん、時間的な投資も大事です。「毎月給料の10分の1、毎日1時間を自分の将来のために使いなさい。毎日1時間、1カ月で30時間、そんな大きな差じゃない。だけど、1年がたつとやっている人とそうでない人とで360時間の差になってくる。そうなると1日10時間ずつ追いつこうと思っても36日かかる差になる。それが5年、10年したら圧倒的な差になってもう取り返しはつかないだろう。日々の積み重ね、1時間1時間の投資の積み重ねがものを言うよ。」と、ある人に教えてもらいました。ロータリーの例会は毎日ではなく毎週ですが、その1時間1時間の積み重ねこそ、真の親睦を通じて、人づくりの原点なのです。ということで、またロータリーの例会といった成長の場、「土」へ戻って来ました。この好循環こそ、職業奉仕の根幹である「人の成長」に必要なだと考えています。そして、「人づくり」は、結局、自分の成長につながるという意味で「自分づくり」だと言えるでしょう。

にこにこ箱

1月17日(第3例会)

- 地区から卓話にお伺いさせていただきました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
地区職業奉仕委員会 山崎修一委員長
- 山崎委員長、よろしくお願ひします。
岡部(泰)会員
- 本日の卓話、地区より山崎様にお願ひしましたフォーラムも皆様の参加よろしく。年末家族会 会長賞を頂いて。
井上会員
- 本日より、よろしくお願ひ致します。
野村会員
- 山崎地区職業奉仕委員長、本日はよろしくお願ひします。
野村 篤さん、ようこそ！
中谷会員
- 野村 篤さんをよろしくお願ひします。
山口会員・山本(英)会員
- 昨年家族会ではお世話になりました、今年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。
佐々木会員
- 1/15RAC例会後の懇親会の残金です。
岡部(泰)・西谷・岡部(倫)・石濱・宮田 各会員
- 岡部(泰)さん、皆さん先に失礼して申し訳ありませんでした。
村上(武)会員

(編集担当 石濱・田中)

会員増強にご協力を!!